

JAXAの井上理事が資料23-3(SELENEの動画撮影)を説明した後、下記のような質疑応答があった。回答役にJAXAの祖父江氏が加わった。

野本:動画が撮れて、ハイビジョンで凄いなと思ったんですけども、例えば、今後、NHKがこのカメラで撮った写真を使いたいという人が沢山出てくると思うんですけども、その時に一体誰の許可を取って、どういう形で提供するのかって云うのを、未だ先の事ですけども、考えておかれた方が良くないかと思うんですね。何故そう言うかという、前に毛利さんがスペースシャトルからハイビジョンで撮った時に、NHKから凄いクレームが出て使えなかったと云う事が有ったみたいなんです。今回、どういう形でJAXAとNHKが話し合っているのか分からないんですけど、矢張り、誰かが使いたいと言った時に、「いや、NHKが駄目って言っているから駄目」みたいなことのないように、スムーズに使って頂けるような形を。これから、其れこそ地球の出なんかの写真が出て来たら、関心を持たれる方は沢山いらっしゃると思うので、その辺、有償無償も含めて、きちんと考えられておいたら良いんじゃないかと思えます。

JAXA 祖父江:SELENEプロジェクトの祖父江と申します。野本先生の仰った話については、既にNHK側と交渉をしております。今回は毛利さんの場合と違って、教育利用の場合には全て無償でJAXAが使えると云う形で整理して御座いますので、教育目的であればただで、我々に言って頂けれ

ば使えると云う整理がして御座います。

野本:教育目的でなかったら。

JAXA 祖父江:JAXAの内部利用、JAXAの目的という形で整理できれば、同じ扱いになります。それ以外の一般の利用という形になるとJAXAとNHKで話合をして、其の目的毎に成果利用料をどういう風にするかという形の相談という形になって御座います¹。

野本:料金は兎も角として、例えば、今日言って明日使いたいと言った時に、NHKに許可取らなきゃ使えないと云って、明日は無理だというようなことになると、まあ、前にもそう云うことは間々あるんですけども、なかなか出て来ないと、国民の税金でやってるのに何で直ぐ使えないんだと云う様な話しが出てきてしまうので、勿論、ケースバイケースは解るんですけども、教育目的以外の目的の人は結構多いと思うんですね。ですから、そう云うのもNHKとある程度話し合って、割と直ぐに回答が出せるような形に話し合っておかれた方が良いと思うんですね。その場になって話し合ってたんでは、矢張り使えないという文句が出て、「JAXAは相変わらず体質が、」とか言われてしまうことと思うので、気を付けられた方が良いんじゃないかと思えます。

松尾:今の「相変わらず」と云うのを...(笑いに消されて聞き取れ

¹ 直ぐに起こるであろう事を予め予測し、対処方法を考えておくことが大切である。危機管理や、政策立案にも同じことが必要である。野本先生は其処を指摘しているのに、「此処までは考えています。」と答えており、回答になっていない。

ない)

青江:(写真に対して)此処にC(コピーライト)JAXA/NHKと書いてありますね。此れ所謂著作権が共有なんですね。共有なんだから1/2を事務局の方が金出しておいたんだね。その人の言い分を聞かないと、**此れは塩梅悪いんじゃないの²。**

野本:ですから社会で良いと言うんではなくて、

青江:その人の、イグレイ(?)を相当慎重に、と言うか、尊重しないといかんのじゃないの。

松尾:その場でいきなり検討するか、決めるか、

森尾:私は前にも申し上げただけけれど、測定器を衛星に積んで、其の測定器で取ったデータについて、其の著作権を誰が持つかと言ったら、JAXA だと思うんですよ。此れも一種の測定器のようなものだから、私は、当然、NHK が権利を持つということの方がおかしくて、ただで積んだと云う様な事が若しあるとそうなるんで、ハイビジョンカメラをJAXA が一旦購入されて、自分で使われたら、NHK に著作権を主張する根拠は殆ど無いと思う。

JAXA 井上:此れはNHK が出資して作ってますので。

森尾:いやいや。だから、JAXA が自分のお金で、例えば衛星一個の値段にすれば此のハイビジョンカメラの値段なんてそんな高くも何とも無いでしょ。

青江:いい値段だと思うんですよ。

² JAXA が主張出来ると言っているらしいが、残りの半分をNHK が持っていれば、相談して決めるしか無くなる。解決策にはならない。

森尾:いやいや、NHK が駄目ならTBS でも朝日でも、何処でも民間のメーカーでも提供しますよ。技術的にそんな難しくは無い。

JAXA 井上:いや、此れは

森尾:此れは、私は、JAXA の交渉の仕方が拙かったんじゃないかと。要するに、向こうが言い出して、じゃあ乗っけましょう見たいな処があったから斯うなっちゃったんだと思うんですね。だから、若し、**次に似たような機会があれば、是非NHK だけでなく他からも応募を頂いて、普通の測定器を買うように買われたら、其れに基づく著作権は全てJAXA に帰属すると云う風に出来ると思うんですよ³。**

松尾:ですから、検討しなければいけないのは、特異な例は出て来るかも知れないけども、「ある程度のことは予め議論されといたら如何ですか。」と云う事だと思います。何か有る度にNHK で3回JAXA で3回打ち合わせやってたんでは、大変だと思いますんで。

JAXA 井上:野本委員の趣旨は良く理解致しました。

森尾:素人の質問をさせて頂きたいんですが、今迄、地球を回ってたSELENEと云うのは、軌道は地球の公転面とほぼ同じですか。で、其れが月に行っても同じように、こう。

JAXA 井上:今は、地球を回る軌道に居りますけれども、

森尾:其の軌道は地球の公転面に非常に近い面ですか。

³ 多分そうはならない。著作権・放映権を持つことに対し、強い執着を持った業界である。どうにかして放映権を独占したいと常々考えている。

JAXA 井上: そうです。月の回転面に一緒に軌道に入っていると。

森尾: 月に行ったらどういう。

JAXA 井上: 月の極軌道に入ります。ですから、大きな意味では地球の周りを回る月と一緒に運動が先ずあって、其の周りにプラスの回転運動が入る。

森尾: 其の時月の近くに行って、また何かエンジンを使って、斯う、軌道修正が行われるんですね。

JAXA 井上: 其の公転という意味では、たぶん速度は落ちる側になるんだと思います。其れと、別の方向の速度を持たなければいけません。

森尾: 其れが、4日頃そうなると言っているんですか。

JAXA 井上: 4日の、朝早い時間ですね。から噴射を始めると。

松尾: 此処までですね。あと何か。

(宇宙開発の現状報告に)